



2019年4月24日

各 位

東京都新宿区揚場町2番1号
大興電子通信株式会社
代表取締役社長 松山 晃一郎
(コード番号8023 東証第二部)

問合せ先
コーポレート本部長 大西 浩
(TEL03-3266-8111)

繰延税金資産の計上、通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年3月期決算において下記の通り繰延税金資産を計上する見込みとなりました。また、最近の業績動向を踏まえ、2018年5月11日に公表しました業績予想及び配当予想を下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の計上について

当社は、当期及び今後の業績見通し等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、業績改善に伴い繰延税金資産の回収可能性の判断に関する企業分類を変更したことにより、法人税等調整額を△2,052百万円（△は利益）計上する見込みです。

2. 業績予想の修正について

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	33,050	650	690	490	38.30
今回発表予想(B)	35,474	1,002	1,069	2,632	192.20
増減額(B-A)	2,424	352	379	2,142	
増減率(%)	7.3	54.2	54.9	437.1	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	33,286	565	594	433	33.92

2019年3月期通期個別業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	31,500	600	610	430	33.61
今回発表予想(B)	33,206	890	940	2,816	205.63
増減額(B-A)	1,706	290	330	2,386	
増減率(%)	5.4	48.3	54.1	554.9	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	32,134	523	543	387	30.25

3. 修正の理由

(1) 連結業績予想の修正理由

売上高につきましては、民需分野における顧客の投資意欲改善により、主にソフトウェアビジネスで受注増加があったこと、ストックビジネスの受注促進活動が奏功し、保守ビジネスを中心に増加したことにより伸長いたしました。また、2019年2月8日に公表いたしました「持分法適用関連会社の異動（連結子会社化）に関するお知らせ」の通り、連結子会社の追加取得により売上高が増加いたしました。

利益面につきましては、堅調な民需分野での売上高伸長に伴う売上総利益の増加に加え、ソフトウェアビジネスの伸長によるシステムエンジニアの稼働率向上が販管費低減に寄与したこと及び経費統制による低コスト体質がさらに定着したことにより営業利益、経常利益が増加しました。加えて、業績改善に伴い繰延税金資産の回収可能性の判断に関する企業分類を変更したことにより、繰延税金資産の計上額を加算したことで親会社に帰属する当期純利益が増加いたしました。

(2) 個別業績予想の修正理由

子会社の追加取得による影響を除き、主に連結業績予想の修正理由によるものです。

4. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
前回予想 (2018年5月11日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 4.00	円 銭 4.00
今回修正予想	—	0.00	—	6.00	6.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2018年3月期)	—	0.00	—	4.00	4.00

5. 配当予想の修正

当社は、慎重な業績予想の元、安定的な配当と内部留保の充実を総合的に勘案し、配当を決定することを基本方針としております。

上記の基本方針に基づき、今回の業績予想の修正を踏まえ、当期の期末配当予想につきましては、前回予想と比べ2円増配の1株当たり6円に修正いたします。

※上記の業績予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。

以上